株式会社 セイコーアドバンス
Seiko advance Ltd.

ＵＶインキ用添加剤

UV インキ各シリーズにおいて、印刷作業性、インキ被膜性能を向上させるために各種添加剤をご用意しています。必要に応じてご使用ください。

増感剤

インキの硬化性を向上させる場合に使用します。硬化速度を速めたい場合や、隠ぺい性が高く硬化性の悪いカラーの硬化性を高めたい場合に使用してください。硬化性・黄変性の違いにより、数種類あります。用途に応じて使い分けてください。

UV666　　：　クリヤー用

UV634A　　：　白、淡色、透明色用
UV636　：　白、淡色、透明色用
※　白色に添加した場合、UV636 が黄変への影響が少ないです。
　　硬化性に関しては UV634A の方が優れます。

UV688A　　：　白色系以外の全色用
（添加量：1～3%程度）

レベリング剤

素材面がはじきやすいとき、消泡効果を高めたいとき、レベリングを向上させたいときに添加することで、各効果が得られます。
CARE 4　　：　非シリコン系
CARE 50 / 55　：　シリコン系
（添加量：1%以内）

架橋剤

インキの被膜を強固にするために使用します。特にブロッキング性改善や表面硬度改善、諸耐性(アルコール、薬品等)改善のために使用してください。ただし架橋剤を添加した場合、強固な膜を形成するため、柔軟性や密着性が低下する場合がありますので必ず確認試験を行ってください。

添加剤 Y1288 架橋剤　：　少し被膜を強固にしたい場合　硬化収縮小さい
UV 8088　　：　大幅に被膜を強固にしたい場合　硬化収縮大きい
（添加量はどちらも 1～5%程度）